

■藤林普山(泰助) 蘭学者。稲村三伯の一番弟子。京都蘭学の草分けで、「和蘭語法解」翻訳公刊し、近代日本の語学の基礎。
ふじばやしふさん
・・・・・・1780＝ 山城国綴喜郡普賢寺村で生まれる。

田沼意次失脚1786＝ 6歳：

初の横綱・・1789＝ 9歳：

松平定信引退1793＝13歳：

ポルト来航・1796＝16歳： 医を学ぶべく京都に出るも、蘭学塾はまだ無かったが、この年刊行された稲村三伯の編訳書「波留麻和解」
をいちはやく購入して、
古事記伝・・1798＝18歳：
1799＝19歳： 帰郷。以後、蘭学者江馬蘭斎に師事したほかは、独学で翻訳に励み、
この間、晩年の木村兼葭堂を再度訪問。

げノヲ報復・1806＝26歳： 海上随鷗と改名した蘭学者稲村三伯が京都に上って来るや入門。直後、妻を失い幼児が残される。
ツツ船狼藉・1807＝27歳：
最も有力な高弟となり、
浮世風呂・・1809＝29歳： 鳥取藩士の娘と再婚し、独立して開業すると、
・・・・・・1810＝30歳： *師の「波留麻和解」をコンパクトに使いやすくした蘭日辞典「訳鍵」を編集刊行。
ゴロブニ拿捕 1811＝31歳： この年、師三伯が死去。さらに、日本初の本格的オランダ語文法書の著述をめざし、
高田屋拿捕・1812＝32歳： 草稿をもって江戸に出、長崎通詞馬場佐十郎に師事したり、師三伯の門弟宇田川榛斎と親交などして、

・・・・・・1815＝35歳： *「和蘭語法解」刊行に結晶する。
伊能測量終・1816＝36歳：

水野忠成老中1818＝38歳：
群書類従完結1819＝39歳： この頃、*大火に遭い、心血を注いだ著書等烏有に帰し、嘆息して帰京、

蝦夷地直轄終1821＝41歳： この年、伊藤圭介が入門。
膝栗毛終・・1822＝42歳： 医官丹波頼易に入門し、

蘭方医として有栖川宮家に仕えるようになり、
異国船打払令1825＝45歳：

富籤流行・・1830＝50歳： 幕府を追われて逃亡中の高野長英の便宜を図るなどして、

高島砲術・・1834＝54歳：

・・・・・・1836＝56歳： 没した。

「本朝医人伝」、杉本つとむ「蘭学に命をかけ申し候」、